

marantz®

Model ES7001 取扱説明書

CINEMARIUM
Home Theater System

マランツのホームシアターシステムをお買い上げいただき、ありがとうございます。
ます。

ご使用前に、この取扱説明書をお読みになり、正しくお使いください。

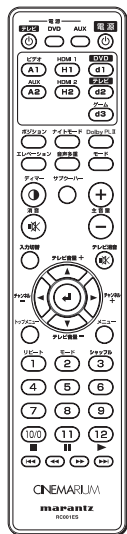
お読みになったあとは、「保証書」とともに大切に保存してください。

なお、お買い上げいただきました製品は、厳重な品質管理のもとに生産されておりますが、ご不審な箇所などありましたら、お早めにお買い上げ店、当社お客様ご相談センター、または最寄りの当社営業所／サービスセンターにお問い合わせください。

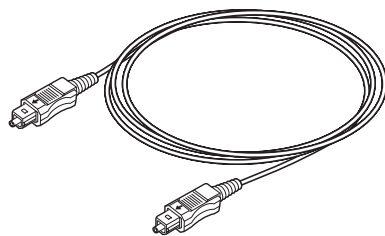
■ 付属品の確認

ご使用前に下記の付属品が揃っていることをご確認ください。

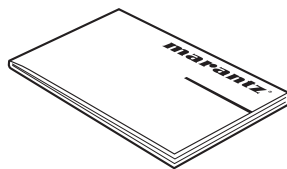
- リモコン RC001ES



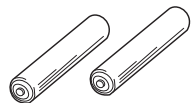
- 光デジタルケーブル



- 取扱説明書(本書)



- 単4乾電池(2本)



- 保証書
- 愛用者カード

目次

安全上のご注意	1
主な特長	4
ご使用前に	5
各部の名称とはたらき	7
前面部	7
背面部	8
リモコン：RC001ES	9
接続方法	13
デジタル機器(OPT.)との接続	13
アナログ機器との接続	14
デジタル機器(HDMI)との接続	14
サブウーハーとの接続	15
リモートコントロール接続	15
設置のしかた	16
基本的な使い方	17
電源を入れる	17
再生のしかた	17
設定のしかた	18
スピーカー高さの設定	18
視聴人数の設定	18
視聴距離の設定	19
サブウーハー出力のオン/オフの設定	19
バイノーラルモードの設定	20
Dolby Pro Logic IIの設定	20
音声多重の設定	21
ナイトモードの設定	21
ディマーの設定	21
初期状態にするには	22
故障とお考えになる前に	22
仕様・外観寸法図	23
その他	24

安全上のご注意

ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みになり、正しくお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られる場所に保証書と共に必ず保管してください。

絵表示について

この「安全上のご注意」は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、いろいろな絵表示をしています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみが発生が想定される内容を示しています。



⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。
図の中や近傍に具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。



●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。
図の中に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜く)が描かれています。



△記号は注意を促す内容があることを告げるものです。
図の中に具体的な注意内容(左図の場合は指をはさまれないように注意)が描かれています。



警告



●万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。



電源プラグを
コンセントから抜く

●万一、内部に水などが入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

●万一、機器の内部に異物が入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



●電源コードが傷んだら(芯線の露出、断線など)販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



電源プラグを
コンセントから抜く

●万一、この機器を落したり、キャビネットを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



水場での使用禁止

●風呂場等の水滴がかかる場所では使用しないでください。火災・感電の原因となります。



●乾電池は、充電しないでください。電池の破裂、液もれにより、火災、けがの原因となります。



●表示された電源電圧(交流 100 ボルト)以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。

●この機器を使用できるのは日本国内のみです。船舶などの直流(DC)電源には接続しないでください。火災の原因となります。



●この機器の開口部をふさがないでください。開口部をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となります。この機器には、内部の温度上昇を防ぐため、ケースの上部や底部などに開口部があけてあります。次のような使い方はしないでください。

この機器をあお向けや横倒し、逆さまにする。

この機器を押し入れ、専用のラック以外の本箱など風通しの悪い狭い所に押し込む。

テーブルクロスをかけたリ、じゅうたん、布団の上において使用する。

安全上のご注意



警告



- この機器の上でろうそく等の炎が発生しているものを置かないでください。火災の原因となります。
- この機器の開口部などから内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。
- この機器の上に花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器や小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合火災・感電の原因となります。



- 電源コードの上に重いものをのせたり、コードが本機の下敷にならないようにしてください。コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。コードの上を敷物などで覆うことにより、それに気付かず、重い物をのせてしまうことがあります。
- 電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。コードが破損して、火災・感電の原因となります。



接触禁止

- 雷が鳴り出したら、電源プラグには触れないでください。感電の原因となります。



- この機器に水が入ったり、ぬらさないようご注意ください。火災・感電の原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。



分解禁止

- この機器の裏ふた、キャビネット、カバーは絶対外さないでください。内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となります。内部の点検・整備・修理は販売店にご依頼ください。
- この機器を改造しないでください。火災・感電の原因となります。



- オーディオ機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。また、接続は指定のコードを使用してください。指定以外のコードを使用したり、コードを延長したりすると発熱しやけどの原因となることがあります。
- 電源を入れる前には、音量(ボリューム)を最小にしてください。突然大きな音がでて聴力障害などの原因となることがあります。また、テレビ等の音声を本機のスピーカーを使ってお楽しみになる前にも、音量(ボリューム)を最小にしてください。



- 電池をリモコン内に挿入する場合、極性表示プラスとマイナスの向きに注意し、表示通りに入れてください。間違えると電池の破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
- 指定以外の電池は使用しないでください。また、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
- ご不要になった電池を廃棄する場合は、各地の地方自治団体の指示(条例)に従って処理してください。



注意



電源プラグを
コンセントから抜く

- 電源のスイッチを切っても電源からは完全に遮断されていません。万一の事故防止のため、本製品を電源コンセントの近くに置き、すぐに電源コンセントからプラグを抜けるようにしてご使用ください。
- 旅行などで長期間、この機器をご使用にならない時は安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
- お手入れの際は安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。
- 移動させる場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、機器間の接続コードなど外部の接続コードを外してから行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。



- 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。
- 窓を閉めきった自動車の中や直射日光が当たる場所や火の近くなど異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。キャビネットや部品に悪い影響を与え、火災の原因となることがあります。
- 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- この機器の上に重いものや外枠からはみ出るような大きなものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。

安全上のご注意



注意



- 電源コードを熱器具に近づけないでください。コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
- 電源プラグを抜く時は、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。



- 電池は、金属性のボールペン、ネックレス、コイン、ヘアピンなどと一緒に携帯、保管しないでください。電池のプラス＋端子とマイナス－端子の間がショートし、電池の破裂、液もれにより、火災、けがの原因となることがあります。
- 電池は、加熱したり、分解したり、火や水の中に入れてください。電池の破裂、液もれにより、火災、けがの原因となることがあります。



- 長時間音が歪んだ状態で使わないでください。スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。



- この機器の上に物を置かないでください。この機器には通気孔があります。通気孔をふさぐと中に熱がこもり、火災の原因となることがあります。
- この機器の上にテレビやオーディオ機器などを載せたまま移動しないでください。倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。
- この機器に乗ったり、ぶら下がったりしないでください。特にお子様にはご注意ください。倒れたり、こわしたりして、けがの原因となることがあります。



- 5年に一度くらいは機器内部の掃除を販売店などにご相談ください。機器の内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、掃除費用については販売店などにご相談ください。
- 長期間使用しない時は、電池をリモコンから取り出しておいてください。電池から液がもれて火災、けが、周囲を汚損する原因となることがあります。もし液がもれた場合は、電池ケースについた液をよく拭き取ってから新しい電池を入れてください。また、万一、もれた液が身体についた時は、水でよく洗い流してください。



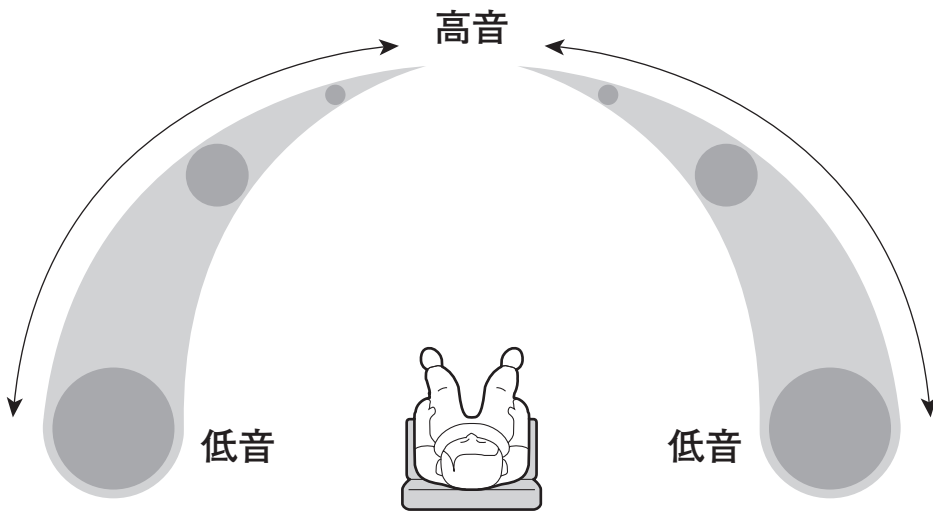
- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。

ES_070327F1

主な特長

【機能】

● OPSODIS とは



OPSODIS (OPTimal SOURCE DIStribution technology: オプソーディス) とは、英国サウサンプトン大学 音響技術研究所 (ISVR)、および鹿島建設株式会社が開発した立体音響技術です。

このOPSODISテクノロジーとマランツの高音質開発技術が、これまでに無いサラウンド環境の提案を目的に融合しました。

CINEMARIUM ES7001は本機搭載のスピーカーのみで全方向の音の再現が可能になります。

今までの5本以上のスピーカー設置が必要とされるサラウンド環境からリスナーを開放し、ライフスタイルやインテリアに対するAVシステムの影響を大きく軽減することができます。

【デジタルアンプ部】

6チャンネルデジタルアンプを搭載し、スピーカーのツイーターレンジ、ミッドレンジ、ウーハーレンジをダイレクトに駆動しています。

HDMI及び光デジタル接続されたデジタル音声信号はアナログ変換することなく、デジタルアンプに入力されます。

【PWMプロセッサ部】

6チャンネルデジタルアンプのカットオフ周波数に於いて、デジタルフィルターを使用することにより、従来のアナログフィルターでは成し得なかった精度の高いフィルターが構成できるので、OPSODISの効果をより効率良く引き出しています。

【電源部】

電源部は漏洩磁束や発熱が少なく、過負荷変動に対して応答性が高いRコアトランスを採用し、高音質で迫力のある音を実現しています。

【キャビネット】

本体キャビネットには高剛性のアルミニウムを採用することにより、精巧かつ強靱なキャビネット構造を実現しています。この結果、透明度の高い高音質なサウンドを再生しています。

【その他の特徴】

- OPT. 入力およびHDMI入力はDolby Digital 5.1ch、dtsおよびAAC入力に対応。
- 2chソースはDolby PL IIに対応。(Digital入力にも対応します)
- バイノーラル録音*のソースをフロントスピーカーで体験できるバイノーラルモード機能。
 - ※ バイノーラル録音とは、人間の頭や耳の形をしたダミーヘッドの耳の部分に2本のマイクロホンをセットして録音した方式をいいます。
 - その音源をヘッドホンで聞くと、音源の前後左右上下方向や距離感がリアルに再現できますが、通常、バイノーラル録音されたソースはヘッドホンでしか大きな効果を得られません。
 - 本機を使って音源を再生すると、ヘッドホン使用時と同等以上の立体音響効果を得ることができます。
- 32ビット最新DSPを3系統使用(1系統はDolby/dts/AAC/PCMのデコードに使用。残りの2系統はOPSODIS処理専用を使用。)

主な特長

● DOLBY

ドルビーラボラトリーズからのライセンスに基づき製造されています。

Dolby、ドルビー、Pro Logic及びダブルD記号及び“AAC”ロゴは、ドルビーラボラトリーの商標です。



● AAC (Advanced Audio Coding)

BSデジタル放送および地上波デジタル放送が採用している音声方式で、MPEG2規格のひとつです。高圧縮率と高音質が特長で、2CHステレオ音声に加え、5.1CHサラウンド音声や多言語放送を可能にしています。以下はパテントナンバーです。

5848391	5,291,557	5,451,954
5 400 433	5,222,189	5,357,594
5 752 225	5,394,473	5,583,962
5,274,740	5,633,981	5 297 236
4,914,701	5,235,671	07/640,550
5,579,430	08/678,666	98/03037
97/02875	97/02874	98/03036
5,227,788	5,285,498	5,481,614
5,592,584	5,781,888	08/039,478
08/211,547	5,703,999	08/557,046
08/894,844	5,299,238	5,299,239
5,299,240	5,197,087	5,490,170
5,264,846	5,268,685	5,375,189
5,581,654	5,548,574	5,717,821
08/937,950	05-183,988	08/506,729
08/576,495	08/392,756	

● dts

dtsおよびdts Virtualは、Digital Theater System, Inc.の登録商標です。



● OPSODIS

OPSODISは、OPSODIS LTD.の登録商標です。



● HDMI

“HDMI” “**HDMI**” および “High-Definition Multimedia Interface” はHDMI Licensing LLCの商標または登録商標です。



HDMIについて

HDMIとは従来のDVI(Digital Visual Interface)規格をさらに発展させた新しい規格です。映像信号に加えてオーディオ信号をデジタルで伝送する機能が追加されています。音声/映像用に複数のケーブルが必要だったものがHDMIケーブル1本で接続ができます。

本機のHDMI入出力端子はVer.1.1に対応しています。

※HDMI(High-Definition Multimedia Interface)

著作権保護について

本機は HDCP(High-band width Digital Content Protection)に対応しています。HDCPはデータの暗号化と相手機器の認証からなるコピープロテクション(著作権保護)技術です。デジタル映像コンテンツの保護を目的にしており、本機と接続する機器もHDCPに対応している必要があります。HDCPに対応しているテレビ/モニターなどと接続してください。また接続する機器の取扱説明書をご確認のうえご使用ください。

ご使用の前に

■ 次のような場所には置かない

本機を未永くご使用いただくために、次のような場所には置かないでください。

- 直射日光が当たる所
- 暖房器具など熱を発生する機器に近い所
- 湿気の多い所や風通しの悪い所
- ほこりの多い所
- 振動のある所
- ぐらついた台の上や傾斜のある不安定な所
- テレビの上などの高い所

後面に通気孔があります。放熱のため、本機を壁や他の機器等から離して設置してください。

■ 上に物をのせない

本機の上に物をのせないでください。

■ 使用中・使用直後に上面や後面などの高温部には触れない

使用中と使用直後は、操作部以外は高温になっているので手を触れないでください。やけどのおそれがあり危険です。特に上面や後面などの高温部には触れないでください。

■ ご使用いただく電源電圧・周波数

- 電源電圧は、交流 100V をご使用ください。
- 電源周波数は、50Hz 地域または 60Hz 地域でご使用できます。

■ 電源コードの取扱い

- 濡れた手で触れないでください。
- 電源コードは、かならずプラグを持って抜いてください。コードを強くひっぱったり、折曲げたりしますと、コードがいたみ、感電や火災の原因になります。
- お出かけ前には、かならずプラグを抜く習慣をつけましょう。

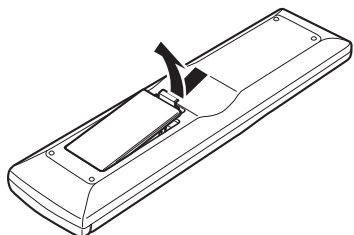
ご使用前に

■ リモコンの使用について

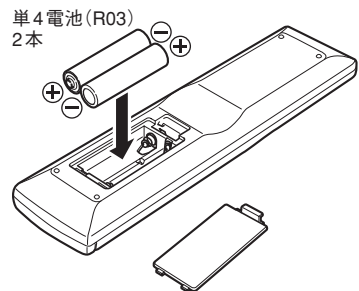
● リモコンに乾電池を入れる

付属のリモコンを最初にご使用になる前に、リモコンに乾電池を入れてください。付属の乾電池はリモコンの動作確認用です。

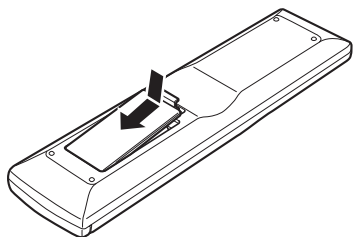
① 裏ふたをはずします。



② 電池の⊕⊖を正しく入れます。



③ カチッと音がするまでしめます。



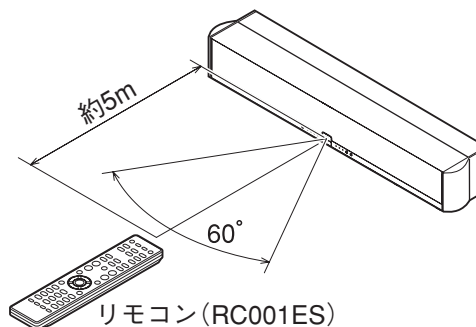
● 乾電池の取扱いについて

乾電池を誤って使用すると、液もれや破裂、腐食などの原因となることがあります。以下の注意をよく読んでご使用ください。

- 長期間（1ヶ月以上）リモコンを使用しない時は、電池を取り出しておいてください。
- 古い乾電池と新しい乾電池を一緒に使用しないでください。
- 乾電池のプラスとマイナスの向きを機器の表示通り正しく入れてください。
- 乾電池は同じ形状のものでも電圧の異なるものがあります。種類の違う乾電池を混ぜて使用しないでください。
- 液もれを起こした時は、ケース内に付いた液をよく拭き取ってから新しい電池を入れてください。
- 不要になった電池を廃棄する場合は、お住まいの地方自治体の指示（条例）に従って処理してください。

● リモコンの動作範囲

リモコンによる本体の操作可能範囲は下図のとおりです。

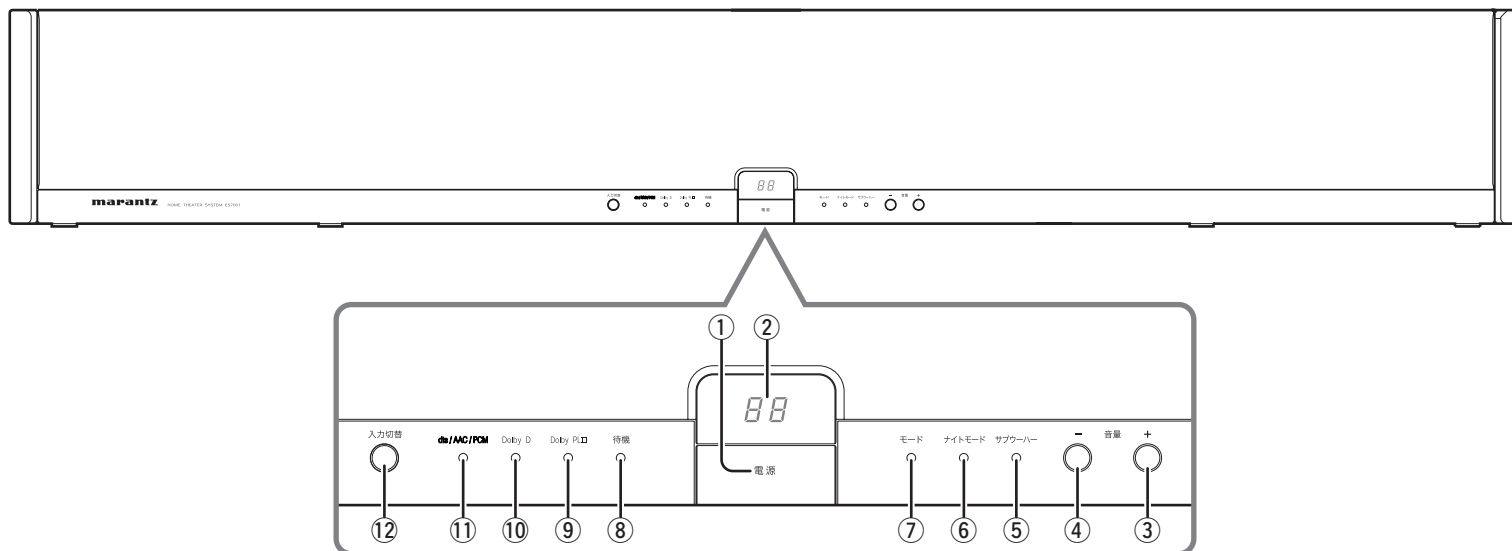


● 使用上の注意

- リモコンの受光部に直射日光やインバーター蛍光灯などの強い光を当てないでください。リモコンが操作できない場合があります。
- リモコンを操作すると、赤外線で作動する他の機器を誤動作させることがありますのでご注意ください。
- リモコンとリモコン受信部の間に障害物があると操作できません。
- リモコンの上に物を置かないでください。ボタンが押し続けられた状態になり、電池が消耗してしまうことがあります。

各部の名称とはたらき

前面部



① 電源ボタン

このボタンを押すと、電源が入ります。もう一度押すと待機状態になります。本機の電源が待機状態のとき、待機インジケータ⑧が点灯します。

② 表示部

通常は音量レベル(00~60)が表示されます。

③ 音量+ボタン

このボタンを押すと、本機の音量が上がります。押し続けると、連続して音量が上がります。

④ 音量-ボタン

このボタンを押すと、本機の音量が下がります。押し続けると、連続して音量が下がります。

⑤ サブウーハー インジケータ

リモコンのサブウーハーボタンを押して、サブウーハー出力を「オン」に設定したとき、緑色インジケータが点灯します。リモコンのサブウーハーボタンを押して、サブウーハー出力を「オフ」に設定したとき、インジケータは消灯します。このインジケータの初期状態は点灯になっています。(サブウーハー出力は「オン」)

ご注意

設置する前に市販または別売のアンプ内蔵サブウーハー(SW7001)と接続してください。

⑥ ナイトモード インジケータ

本機がナイトモードに設定されたとき、緑色インジケータが点灯します。リモコンのナイトモードボタンを押してナイトモードを解除したとき、インジケータは消灯します。

ご注意

ナイトモードの設定は、Dolby Digitalインジケータ(青色)が点灯しているときに設定できます。

⑦ モード インジケータ

本機がバイノーラルモードに設定されたとき、青色のインジケータが点灯します。リモコンのモードボタンを押してバイノーラルモードを解除したとき、インジケータは消灯します。

ご注意

バイノーラルモードの設定はバイノーラル録音された音源を再生するときに設定します。

⑧ 待機 インジケータ

本機の電源が待機状態のとき、赤色のインジケータが点灯します。

⑨ Dolby PL II インジケータ

入力信号の設定がDolby Pro Logic II(Pro Logic II MOVIE / Pro Logic II MUSIC)で2チャンネル信号のときに緑色のインジケータが点灯します。リモコンのDolby PL IIボタンを押してDolby Pro Logic IIをOffに設定したとき、インジケータは消灯します。

⑩ Dolby D インジケータ

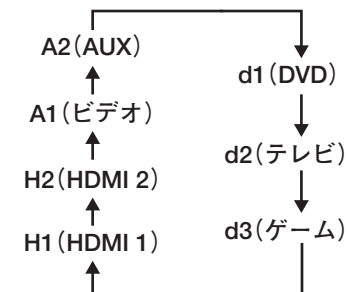
入力信号がDolby Digital信号のとき、青色のインジケータが点灯します。

⑪ dts / AAC / PCM インジケータ

接続した機器からの入力信号を下記の色で表示します。
 dts信号 : 赤色
 AAC信号 : 黄色
 PCM信号 : 緑色
 リモコンのA1 / A2ボタンを押して、入力切替をアナログ信号に設定したとき、インジケータは消灯します。

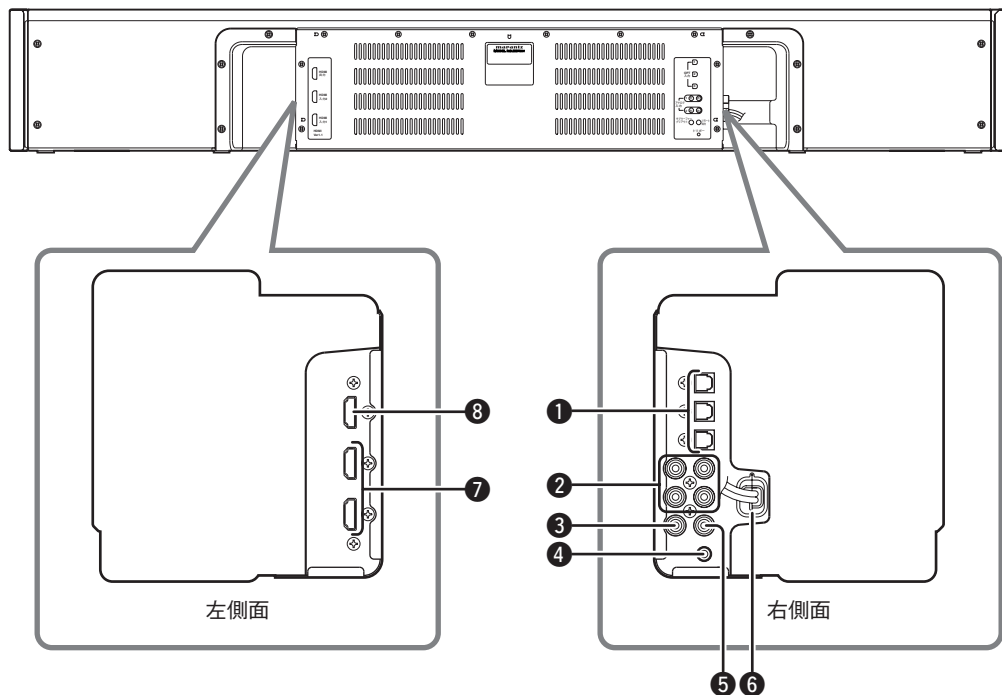
⑫ 入力切替ボタン

このボタンを押して、再生する入力ソースを切り替えます。ボタンを押す毎に表示部が下記のように切り替わります。初期状態の入力ソースは「d1」になっています。



各部の名称とはたらき

背面部



① OPT入力1/2/3端子

DVDプレーヤー、テレビ、ゲーム機器などのデジタル光出力端子と接続する端子です。

- OPT入力 1端子とDVDプレーヤーを接続します。
- OPT入力 2端子とテレビを接続します。
- OPT入力 3端子とゲーム機器を接続します。

【ご注意】

接続した機器からの信号が5分以上入力されないとき、本機の電源は自動的に待機状態になります。(入力切替をOPT 1 / 2 / 3 に設定した場合のみ)

② アナログ入力1(A1)/2(A2)端子

ビデオデッキ、外部再生機器などのアナログ出力端子と接続する端子です。

- アナログ1端子とビデオデッキを接続します。(リモコンのA1ボタン)
- アナログ2端子と外部再生機器を接続します。(リモコンのA2ボタン)

③ サブウーハープリアウト端子

アンプ内蔵サブウーハーの入力端子と接続する端子です。

④ サブウーハーコントロール出力端子

別売のアンプ内蔵サブウーハー(SW7001)のコントロール入力端子と接続する端子です。本機の電源をオンまたは待機状態にしたとき、連動してサブウーハーの電源もオンまたは待機状態になります。

【ご注意】

サブウーハーの電源をオンにした状態でご使用ください。

⑤ リモート出力端子

マランツ製DVDプレーヤーなどのリモートコントロール端子を持つ機器と接続する端子です。

【ご注意】

本機と接続したDVDプレーヤーやiPod専用ミュージックジャンクションIS201を赤外線を受けにくい場所に設置した場合、リモートコントロール接続してください。

本機に向けてリモコン操作すると、受信したコマンド信号を接続した機器に送ります。

⑥ AC電源コード

家庭用コンセント AC100V 50/60Hz に接続してください。

⑦ HDMI 1 / HDMI 2入力端子

ハードディスクレコーダー、テレビチューナー、ゲーム機器などのHDMI出力端子と接続する端子です。

本機のHDMI入出力端子は Ver. 1.1に対応しています。

⑧ HDMI 出力端子

テレビ、ビデオプロジェクターなどのHDMI入力端子と接続する端子です。

本機のHDMI入出力端子は Ver. 1.1に対応しています。

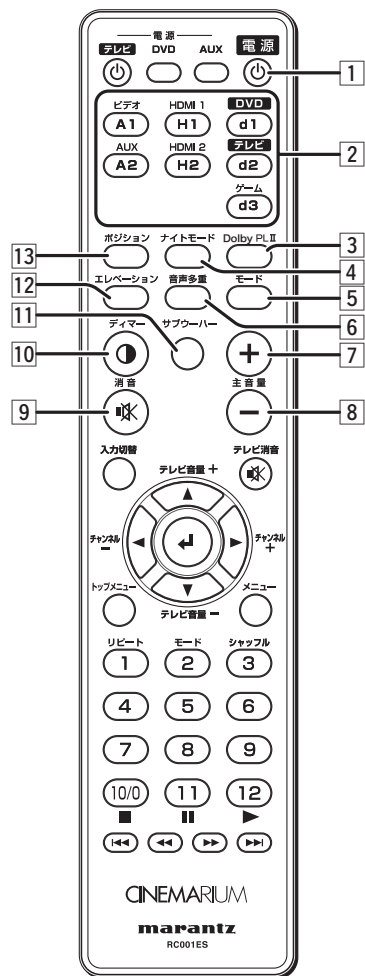
【ご注意】

HDMI端子からの音声入力信号を本機で再生します。この場合、TVやプロジェクターには音声信号は出力されません。

各部の名称とはたらき

リモコン：RC001ES

■ 本機のリモコン操作



1 電源 ボタン

本機の電源を電源オン状態または待機状態にするときに押します。

2 入力ソース選択 ボタン

再生する入力ソースを選択するボタンのグループです。
再生したい入力ソースボタンを直接押します。

3 Dolby PL II ボタン

Dolby Pro Logic II の音場環境 (Pro Logic II MOVIE / Pro Logic II MUSIC / OFF) を切り替えたいときに押します。

ご注意

入力信号がアナログ信号または 2ch PCM 信号のときに切り替えることができます。

4 ナイトモード ボタン

夜の映画鑑賞など音量を下げて視聴したいときに押します。
再生音の強調部分をおさえられ、全体の音量を上げずに視聴することができます。

5 モード ボタン

バイノーラル録音された音源を視聴したいときに押します。

6 音声多重 ボタン

テレビのハイビジョン放送 (AAC 信号) を受信したとき、テレビの音声多重 (主音声 / 副音声 / 主音声 + 副音声) を切り替えたいときに押します。

7 音量+ボタン

本機の音量を上げるときに押します。

8 音量-ボタン

本機の音量を下げるときに押します。

9 消音

本機の音量を一時的に消音するときに押します。解除するときはもう一度押します。

10 ディマー ボタン

表示部の明るさを調整するときに押します。明るさは 2 段階に調整できます。

11 サブウーハーボタン

市販または別売のアンプ内蔵サブウーハー (SW7001) をご使用になるとき押します。

ご注意

初期状態はオンとなっています。サブウーハーを接続していない時はこのボタンを押して、サブウーハーインジケータを消灯させるようにしてください。

12 エレベーション ボタン

本機を設置する高さ (テレビより上の位置 / テレビより下の位置) を切り替えたいときに押します。

13 ポジション ボタン

【視聴人数】

視聴する人数 (1 人 / 2 人以上) を設定するときに、このボタンを 1 回押します。

【視聴距離】

本機と視聴する位置までの距離 (2m 以下 / 約 2m / 2m 以上) を設定するときに、このボタンを 2 秒以上押し続けます。

ご注意

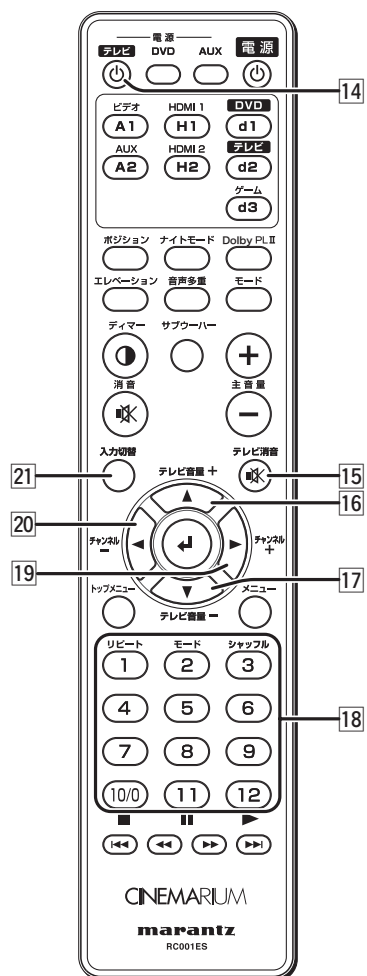
- 視聴距離を約 2m 以上に設定し、本機と視聴する実際の距離が 2.5m 以上離れると、スピーカーからの立体音響効果が薄くなる場合があります。
- 視聴距離を 2m 以下に設定し、本機と視聴する実際の距離が 1.5m 以下に近づくとスピーカーからの立体音響効果が薄くなる場合があります。

各部の名称とはたらき

■ テレビのリモコン操作

■ ご注意

- ご使用の前にテレビのプリセットコード設定を行なってください。
- 詳しい操作説明は設定したテレビの取扱説明書をご覧ください。



14 テレビ電源 ボタン

テレビの電源をオンまたは待機状態に切り替えます。

15 テレビ消音 ボタン

テレビの音量を一時的に消音します。解除するときはもう一度押します。

16 テレビ音量+ボタン

テレビの音量を上げます。

17 テレビ音量-ボタン

テレビの音量を下げます。

18 数字(1~12) ボタン

テレビ放送の1~12チャンネルを選局します。

19 チャンネル+ボタン

テレビ放送のチャンネルを順送りで選局します。

20 チャンネル- ボタン

テレビのチャンネル番号を逆送りで選局します。

21 入力切替 ボタン

テレビの放送/ビデオ入力を切り替えます。

■ プリセットコードの設定方法

このリモコンには、他社メーカーのテレビ用のリモコンコードがプリセットされています。

1. 次のページに記載されているテレビのプリセットコード一覧表を参照して、お客様のご使用になるテレビメーカーの4桁の数字を確認します。
2. リモコンのテレビ電源ボタン 14 を押しながら、テレビメーカーの4桁の数字をリモコンの数字ボタン 18 に入力すると設定は完了します。

■ ご注意

- 一部のセットアップコードはお持ちのテレビに対応していない場合があります。
- 設定後リモコンでテレビの操作ができない場合は、別の4桁の数字を入力して再度設定してください。
- プリセットコード設定で、動作しない機能もあります。

■ テレビのプリセットコード一覧表

Aiwa.....	1184
EPSON.....	1199
Fujitsu.....	1179, 1181, 1210
Funai.....	1189, 1190, 1191, 1192, 1193
Hitachi.....	1170, 1171, 1172, 1201
JVC.....	1173, 1174, 1175, 1186
LG.....	1194, 1195, 1196
Mitsubishi.....	1171, 1172, 1207
NEC.....	1182, 1183
Panasonic.....	1161, 1162
Philips.....	1197
Pioneer.....	1168, 1169
Samsung.....	1185, 1187, 1188, 1203 1204, 1205, 1206
Sanyo.....	1176, 1177, 1178, 1208
Sharp.....	1165, 1166, 1167
Sony.....	1163, 1164, 1200
Toshiba.....	1183, 1202, 1209

各部の名称とはたらき

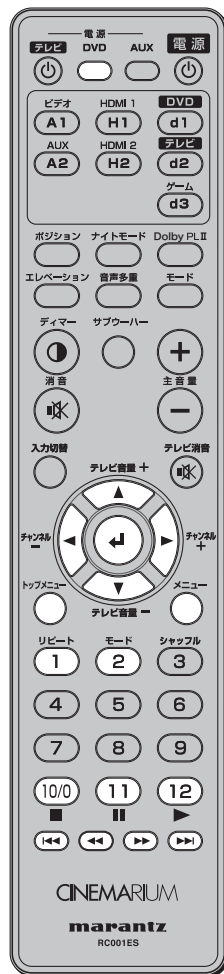
■ マランツ製品のリモコン操作

- 操作したい機器のボタンを押します。
 - DVDプレーヤー：リモコンのd1ボタン
 - IS201：リモコンのA2ボタン
- 機器の各ボタンの表を参照して、操作してください。

■ ご注意

- 詳しい操作説明は接続したマランツ製品の取扱説明書をご覧ください。
- 一部のモデルでは操作できない場合があります。

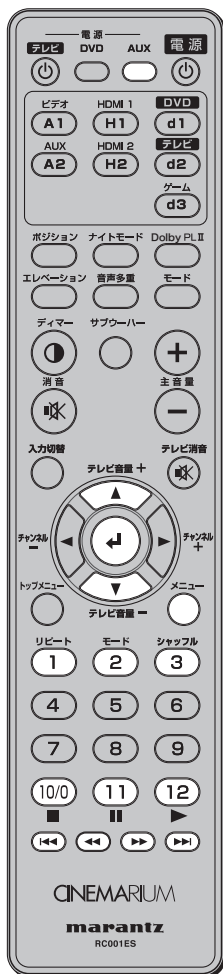
■ マランツ製DVDプレーヤーのリモコン操作



DVD 電源 ボタン	DVD プレーヤーの電源をオンまたは待機状態に切り替えます。
▲ ボタン	画面上のカーソルを上方向へ移動します。
▼ ボタン	画面上のカーソルを下方向へ移動します。
◀ ボタン	画面上のカーソルを左方向へ移動します。
▶ ボタン	画面上のカーソルを右方向へ移動します。
◀▶ ボタン	画面上のカーソルで選択した内容を決定します。
トップメニュー ボタン	DVD ディスクのトップメニューを表示します。
メニュー ボタン	DVD プレーヤーの設定画面を表示します。
リピート ボタン	チャプターまたはディスクを繰り返し再生します。
モード ボタン	スーパーオーディオ CD を再生するときに再生する層を決めるときに使用します。
■ ボタン	再生を停止します。
ボタン	再生中に押すと一時停止します。
▶ ボタン	DVD プレーヤーのディスクの再生を開始します。
◀◀ ボタン	再生中のチャプターや曲を最初から再生します。
◀◀◀ ボタン	再生している場所から早戻しをします。
▶▶▶ ボタン	再生している場所から早送りをします。
▶▶▶▶ ボタン	次のチャプターや曲を再生します。

各部の名称とはたらき

■ マランツ製 iPod 専用ミュージックジャンクション (IS201) のリモコン操作



AUX 電源 ボタン	IS201に接続したiPodの電源をオンまたは待機状態に切り替えます。
▲ ボタン	iPodのクリックホイール左回しと同じ動作をします。 ご注意 iPodの音量調節はできません。
▼ ボタン	iPodのクリックホイール右回しと同じ動作をします。 ご注意 iPodの音量調節はできません。
◀ ボタン	iPodのクリックホイール選択ボタンと同じ動作をします。
メニュー ボタン	iPodのクリックホイールメニューと同じ動作をします。
リピート ボタン	iPodのリピートモード(1曲→全曲→オフ)を切り替えます。
モード ボタン	IS201のモード設定(OSD/LCD)を切り替えます。
シャッフル ボタン	iPodのシャッフルモード(曲→アルバム→オフ)を切り替えます。
■ ボタン	iPodの再生を停止します。
 ボタン	iPodの再生を一時停止します。
▶ ボタン	iPodの再生を開始します。
◀◀ ボタン	1回押すと再生中のコンテンツの最初に戻ります。2回続けて押すと1つ前のコンテンツに戻ります。
◀◀ ボタン	再生している場所から早戻しをします。
▶▶ ボタン	再生している場所から早送りをします。
▶▶ ボタン	1回押すと次のコンテンツにスキップします。

接続方法

ご注意

- 全ての接続が完全に終わるまで、本機や他の機器の電源コードを電源コンセントに差し込まないでください。
- 接続コードのプラグは確実に接続端子に挿入してください。不完全な接続は、雑音の原因となります。
- L(左)チャンネルとR(右)チャンネルを正しく接続してください。赤い端子はR(右)チャンネル、白い端子はL(左)チャンネルです。
- 入力と出力は正しく接続してください。
- 本機と接続するそれぞれの機器については、それぞれの取扱説明書を参考にしてください。

デジタル機器(OPT.)との接続

- デジタル入力端子(OPT.)は3系統あります。
- 接続する際、付属または市販の光ケーブルをご使用ください。

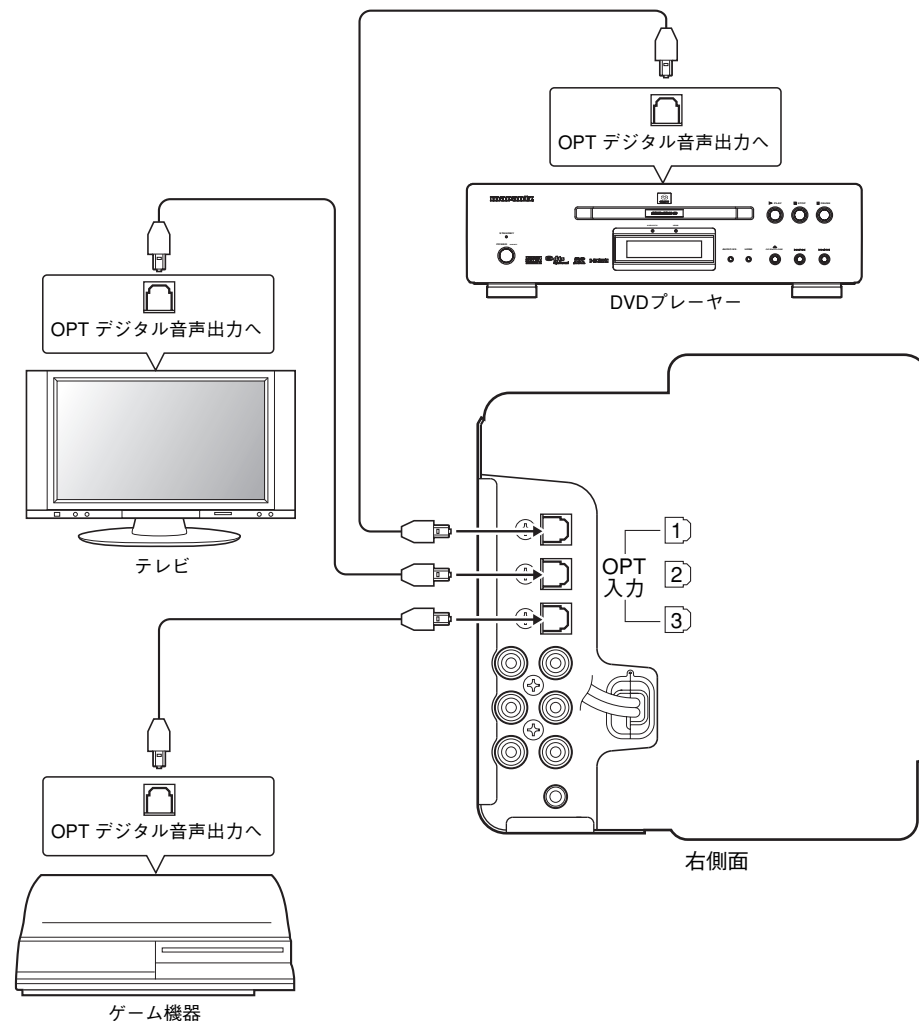
■ 接続方法

- OPT入力 1端子とDVDプレーヤーを接続してください。
- OPT入力 2端子とテレビを接続してください。
- OPT入力 3端子とゲーム機器を接続してください。

DVDプレーヤーは付属のリモコンのd1ボタンに割り当てられ、リモコンでマランツ製DVDプレーヤーの簡易操作ができます。

テレビは付属のリモコンのd2ボタンに割り当てられ、リモコンでテレビの簡易操作ができます。

ゲーム機器は付属のリモコンのd3ボタンに割り当てられます。



接続方法

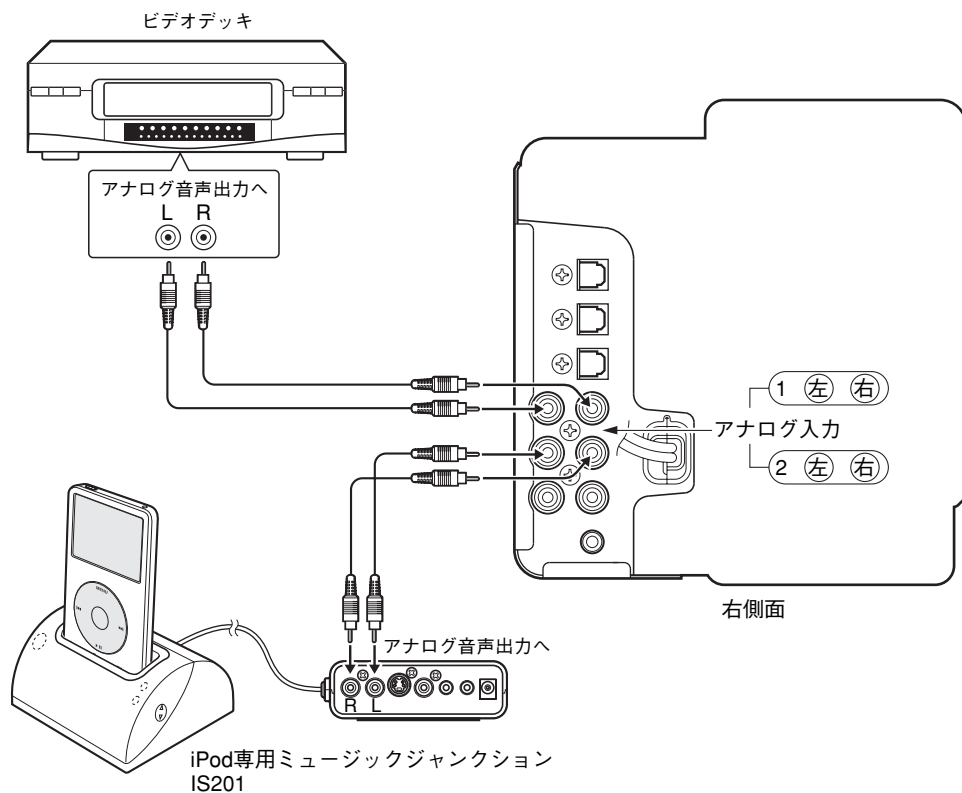
アナログ機器との接続

- アナログ入力端子は2系統あります。
- 接続する際、市販のRCAオーディオケーブルをご使用ください。

■ 接続方法

- アナログ入力 1 端子とビデオデッキを接続してください。
ビデオデッキは付属のリモコンのA1ボタンに割り当てられます。
- アナログ入力 2 端子と別売のiPod専用ミュージックジャンクション (IS201) を接続してください。

IS201は付属のリモコンのA2 (AUX) ボタンに割り当てられ、リモコンでIS201の簡易操作ができます。

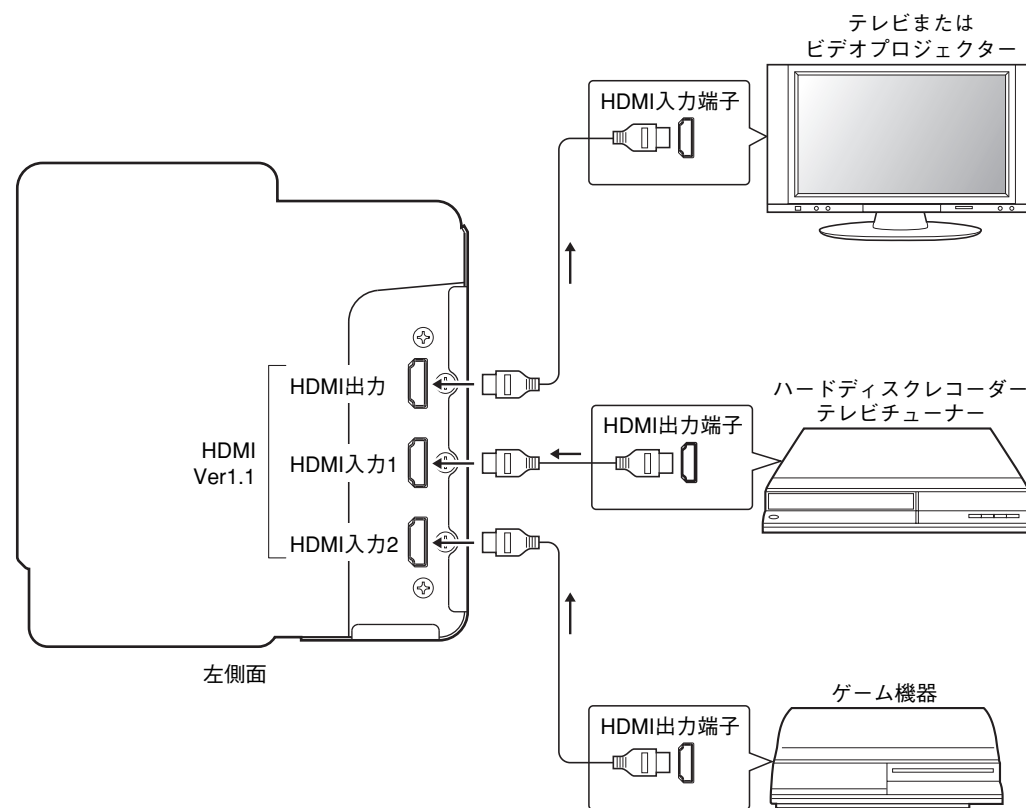


デジタル機器 (HDMI) との接続

- デジタル入力端子 (HDMI) は2系統、デジタル出力端子 (HDMI) は1系統あります。
- 接続する際、市販のHDMIケーブルをご使用ください。

■ 接続方法

- HDMI入力 1 端子とハードディスクレコーダー等 HDMI端子搭載の機器を接続してください。
接続した機器は付属のリモコンのH1ボタンに割り当てられます。
- HDMI入力 2 端子とゲーム機器等 HDMI端子搭載の機器を接続してください。



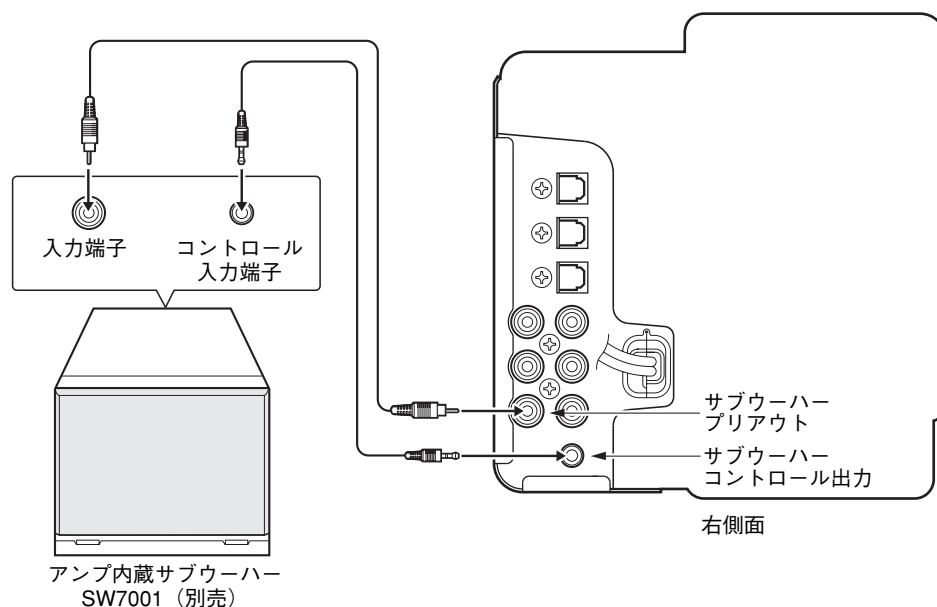
接続方法

サブウーハーとの接続

- 別売のサブウーハー (SW7001) と接続する際、SW7001 に付属されたケーブルをご使用ください。
- 接続後サブウーハーの電源をオンにすると、本機の電源をオンまたは待機状態にしたとき、連動してサブウーハーの電源もオンまたは待機状態になります。
(他社市販のサブウーハーは対応しません。)

■ 接続方法

- サブウーハー出力端子と SW7001 の入力端子を接続してください。
- サブウーハーコントロール出力端子と SW7001 のコントロール入力端子を接続してください。



リモートコントロール接続

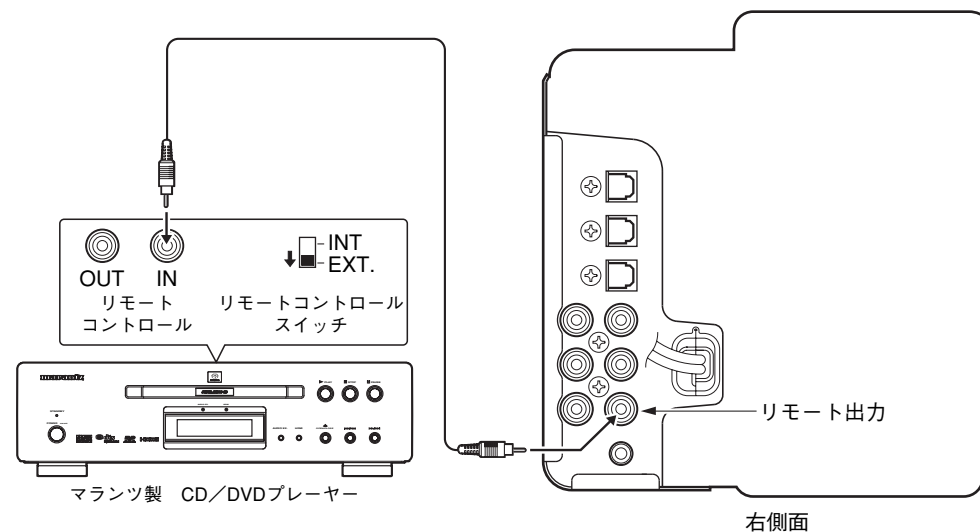
- リモートコントロール端子はマランツ製DVDプレーヤーなどリモートコントロール端子を持つ機器と接続する端子です。
- 本機と接続したDVDプレーヤーやIS201を赤外線を受けにくい場所に設置した場合、リモートコントロール接続してください。本機に向けてリモコン操作をすると、受信したコマンド信号を接続した機器に送ります。

■ 接続方法

- 接続したいマランツ製プレーヤーに付属されたリモートコントロールケーブルを使って、本機のリモートコントロール端子と接続してください。

■ ご注意

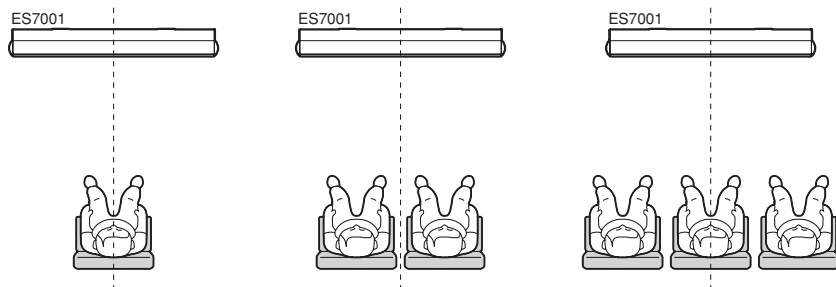
このリモートコントロール接続を行う場合、本機と接続する機器の背面に装備されているリモートコントロールスイッチは、EXT. に設定してください。



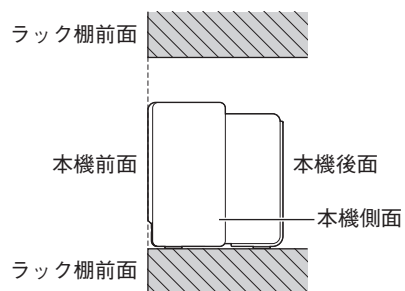
設置のしかた

■ 設置位置

- 座る位置の中心と本機の中心をそろえる様に設置してください。



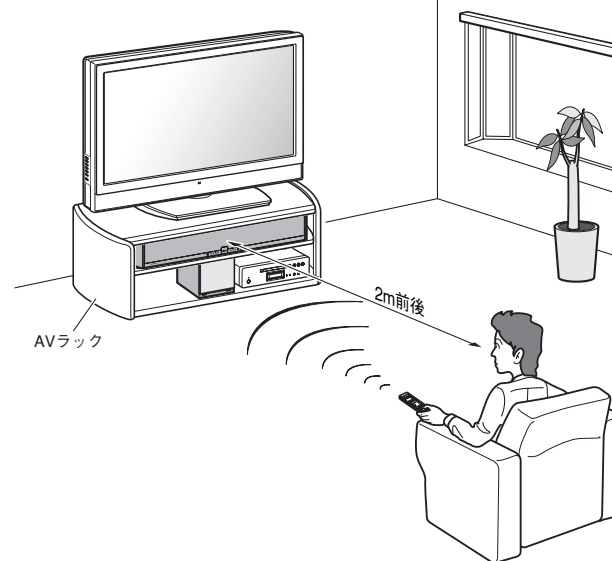
- 本機をラックに設置する場合は、ラック棚の前面と本機の前面をそろえる様に設置してください。



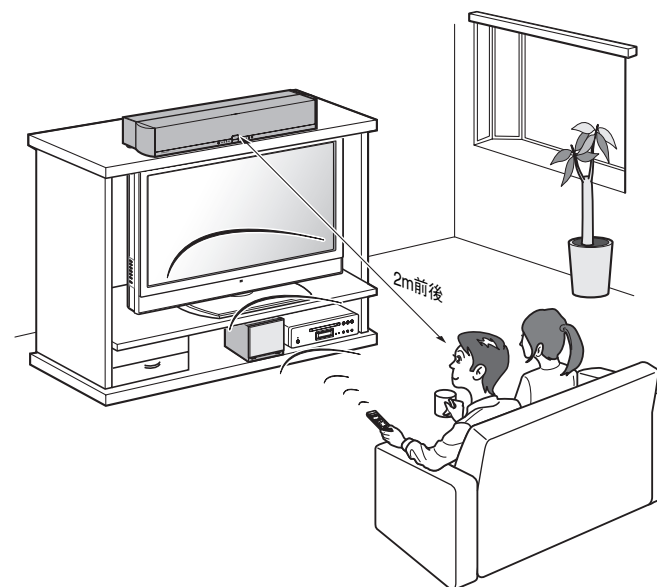
ご注意

- 本機は 12kg の重さがあります。地震などの振動やお子様の接触などで本機が落下しないように、市販のワイヤー等で落下防止対策を行ってください。
- ブラウン管式テレビなど、発熱体の上へは直接設置しないでください。
- 万ーテレビに色ムラなどが生じるときは、テレビと本機の距離を離してご使用ください。

【本機を別売の AV ラックに設置した場合】



【本機をテレビより上方に設置した場合】



基本的な使い方

電源を入れる

1. 接続したオーディオ機器の電源スイッチを入れてください。その際オーディオ機器のセレクトボタンは本機と接続した入力を選択してください。
2. 電源コードをコンセントに差し込んでください。
3. 本機の電源ボタン、またはリモコンの電源ボタンを押して電源を入れます。
 - 電源ボタンを押すごとに、本機は電源のONとスタンバイを繰り返します。

■ オートパワーオフ機能

- 接続している機器 (DVD、テレビまたはゲームなど) の電源が切れ、本機の電源を待機状態にするのを忘れたとき、本機は自動的に待機状態になります。
- 入力切替がDVD、テレビまたはゲームになっているときに信号が5分間以上入力されなかったとき、本機は自動的に待機状態になります。

再生のしかた

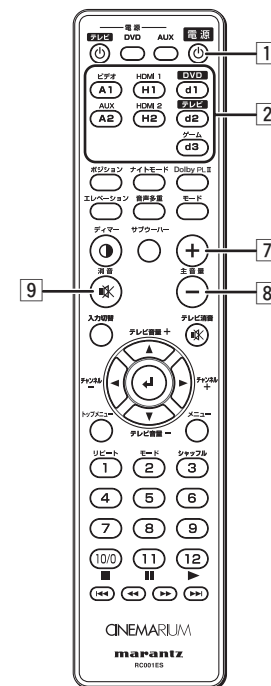
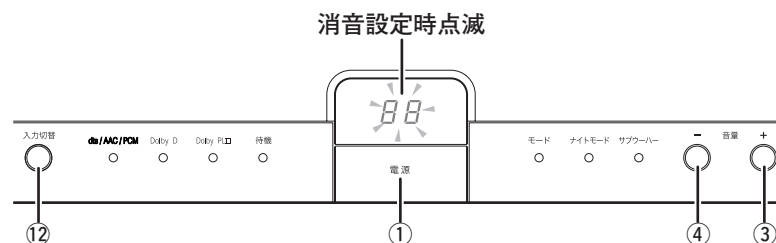
代表的な例としてDVDプレーヤーでディスクを再生する手順を説明します。接続方法を参照し、機器が正しく本機に接続されていることを確認してください。

■ DVDプレーヤーによるディスク再生

1. DVDプレーヤーのPOWER ON/OFFスイッチを押して電源を入れます。
2. 本機の電源ボタン①またはリモコンの電源ボタン①を押して電源を入れます。
3. 本機の入力切替ボタン⑫を押して“d1”を選ぶ、またはリモコンの入力ソース選択ボタングループ②のd1ボタンを押します。
4. DVDプレーヤーにディスクを入れ、PLAYボタンを押して再生します。
5. 本機の音量+、-ボタン③、④またはリモコンの主音量+、-ボタン⑦、⑧で音量を調整します。

■ 消音の設定

本機の音量を一時的に消音したいときにリモコンの消音ボタン⑨を押します。消音中は表示部の音量レベル表示が点滅しています。消音状態から音を戻すときはリモコンの消音ボタン⑨または本機の音量+、-ボタン③、④またはリモコンの主音量+、-ボタン⑦、⑧を押します。



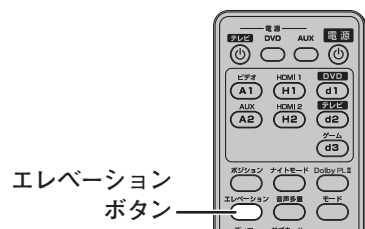
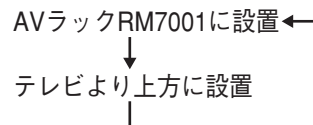
設定のしかた

本機にて下記の内容を設定することができます。

- スピーカー高さの設定(18ページ)
- 視聴人数の設定(18ページ)
- 視聴距離の設定(19ページ)
- サブウーハー出力のオン/オフの設定(19ページ)
- バイノーラルモードの設定(20ページ)
- Dolby Pro Logic IIの設定(20ページ)
- 音声多重の設定(21ページ)
- ナイトモードの設定(21ページ)
- ディマーの設定(21ページ)
- 初期状態にするには(22ページ)

スピーカー高さの設定

- 本機を設置する高さを設定します。
- 高さを変更するにはリモコンのエレベーションボタンを押してください。
- ボタンを押す毎に下記のように高さが変わります。
- スピーカー高さの初期状態はテレビより下に設置(別売のAVラックRM7001の上段に設置)したときになっています。



【AVラックRM7001に設置したとき】

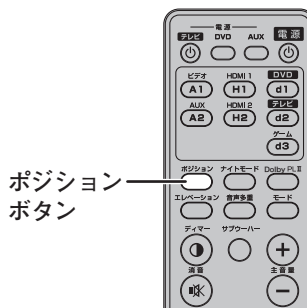


【テレビより上方に設置したとき】

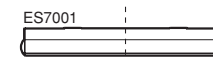


視聴人数の設定

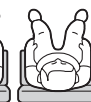
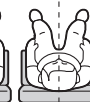
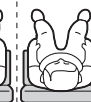
- 本機で視聴するときの人数を設定します。
- 人数を変更するにはリモコンのポジションボタンを押してください。
- 視聴人数の初期状態は2人以上になっています。



【視聴人数が1人のとき】



【視聴人数が2人以上のとき】



ご注意

人数が多い場合は、実際に視聴して立体音響効果の良い方を選択してください。

設定のしかた

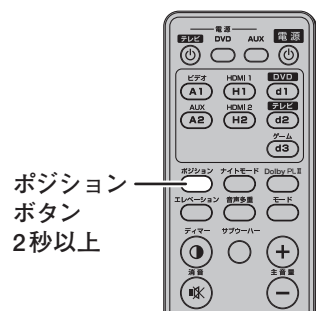
視聴距離の設定

- 本機から視聴する位置までの距離を設定します。
- 視聴距離を変更するにはリモコンのポジションボタンを2秒以上押し続けてください。

表示部に視聴距離が表示されている間にボタンを2秒以上押しすと、押し毎に下記のように距離が変わります。

視聴距離の初期状態は約2mになっています。

2m以下 → 約2m → 2m以上



【視聴距離が2m以下のとき】



【視聴距離が2mのとき】



【視聴距離が2m以上のとき】

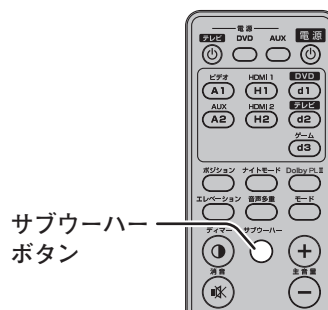


ご注意

- 視聴距離を約2m以上に設定し、本機と視聴する実際の距離が2.5m以上離れると、スピーカーからの立体音響効果が薄くなる場合があります。
- 視聴距離を約2m以下に設定し、本機と視聴する実際の距離が1.5m以下になると、スピーカーからの立体音響効果が薄くなる場合があります。

サブウーハー出力のオン／オフの設定

- 市販または別売のアンプ内蔵サブウーハー (SW7001) をご使用になるとき、リモコンのサブウーハーボタンを押してください。本機のサブウーハーインジケータが点灯し、サブウーハー出力は「オン」になり、接続したサブウーハーから低音域が出力されます。このとき、本機の低音域は、サブウーハーの低音域にかぶらないように調整された低音域が出力されます。
- サブウーハー出力を「オフ」にするには、リモコンのサブウーハーボタンを1回押して、表示部がOn表示されている間に、もう一度サブウーハーボタンを押してください。表示部はOF表示になり、サブウーハーインジケータが消灯し、本機のスピーカーからの本来の低音域が出力されます。
- サブウーハー出力の初期状態は「オン」になっています。



【サブウーハー出力が「オン」のとき】

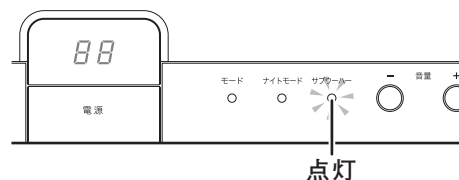


【サブウーハー出力が「オフ」のとき】



ご注意

- サブウーハーをお使いにならないときは、必ずサブウーハー出力を「オフ」にしてください。「オフ」の時のみ、本機のスピーカーから本来の低音域が出力されます。
- サブウーハーを接続したとき、本機からサブウーハーの音量調節はできません。サブウーハーで音量調節をしてください。
- 2チャンネルAAC方式のソースが入力されたとき、サブウーハーからは出力されません。



設定のしかた

バイノーラルモードの設定

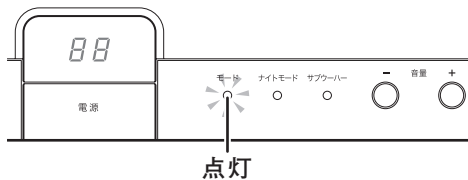
- バイノーラル録音された音源を視聴したいとき、リモコンのモードボタンを押してください。
- 本機のモードインジケータ（青色）が点灯し、音源の立体感がリアルに再現されて聞こえます。

ご注意

2チャンネルPCM方式とアナログ入力以外のソースが入力されたとき、自動的にバイノーラルモードが解除されます。



モードボタン



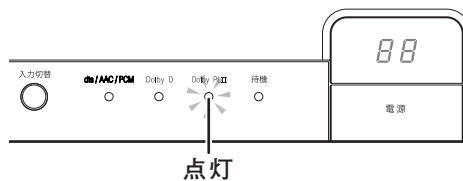
Dolby Pro Logic IIの設定

- Dolby Pro Logic IIでの音場環境を設定します。
- 本機がPL II MOVIE、PL II MUSICに設定されたとき、Dolby PL IIインジケータが点灯します。
- リモコンのDolby PL IIボタンを押す毎に、下記のように音場環境が変わります。

PL II MOVIE → PL II MUSIC → OFF



Dolby PL II
ボタン



【PL II MOVIEのとき】



このモードでは、Dolby Surroundエンコードされたステレオ映画のサウンドトラックから立体音響が得られます。

【PL II MUSICのとき】



このモードでは、CDプレーヤー、iPodなどの従来型のステレオソースから立体音響が得られます。

【OFFのとき】



Dolby Pro Logic IIの効果はなくなります。

PL II MOVIEまたはPL II MUSICに設定したとき、入力信号がビデオ入力/AUX入力およびデジタル2チャンネルになると、設定は自動的にPL II MOVIEに変更され、PL IIインジケータが点灯します。

ご注意

- PL II MOVIE、PL II MUSICまたはOFFにしたいときは、再びリモコンのDolby PL IIボタンを押してください。
- 選択したPL IIの項目は本機にメモリーされます。

設定のしかた

音声多重の設定

- テレビのハイビジョン放送 (AAC 信号) を受信したとき、本機の AAC インジケータ (黄色) が点灯します。

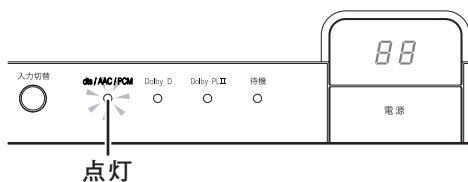
このとき、リモコンの音声多重ボタンを押して、テレビの音声を切り替えることができます。

- ボタンを押す毎に下記の様に音声が変わります。

主音声 → 副音声 → 主音声+副音声



音声多重
ボタン



点灯

【主音声のとき】



【副音声のとき】



【主音声+副音声のとき】



ご注意

主音声・副音声が入っていない放送 (AAC 信号) もあります。

ナイトモードの設定

夜の映画鑑賞などの場合に、再生音の強調部分をおさえ、全体の音量を上げずに視聴したいときにはリモコンのナイトモード ボタンを押してください。

ボタンを押すと、本機のナイトモードインジケータ (緑色) が点灯します。

Dolby Digital インジケータ (青色) が点灯しているときにこの設定ができます。

ご注意

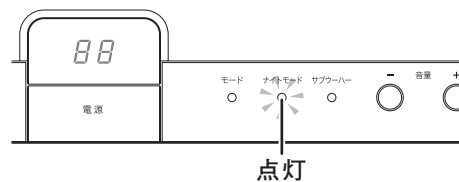
ナイトモードの効果は、ドルビーデジタルのソフトによって設定されています。

この機能に対応していないソフトには効果がない場合があります。

入力信号が dts 信号 / AAC 信号 / PCM 信号のときは対応していません。



ナイトモード
ボタン



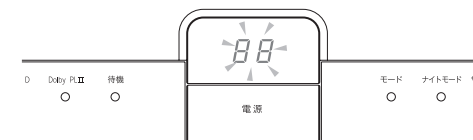
点灯

ディマーの設定

本機の表示部の明るさを暗くしたいときにリモコンのディマーボタンを押してください。再度、明るくしたいときはもう一度ディマーボタンを押してください。



ディマー
ボタン



初期状態にするには

設定した内容を全て消去して工場出荷時設定（初期状態）にもどすには、電源がオン状態で本機の音量＋ボタンと電源ボタンを同時に3秒以上押してください。

約2秒後に待機状態になり再び電源が入り、初期状態の設定が終了します。

■ 本機の初期状態

電源 ON
入力切替 DVD
表示部 音量表示
音量 00

■ 設定項目初期状態

スピーカー高さ L (テレビより下に設置)
視聴人数 2P (2人以上)
視聴距離 ー (2m)
サブウーハー On (サブウーハー 出力オン)
パイノーラルモード オフ状態
Dolby PL II P1 (PL II MOVIE)
音声多重 b1 (主音声)
ナイトモード オフ状態
ディマー 明
消音 オフ状態

故障とお考えになる前に

故障かな？と感じたらちょっと確認してください。

下記の項目を確認しても直らない場合は、お買い上げになった販売店もしくはお近くの株式会社マランツコンシューマーマーケティング各営業所、お客様相談センター、または当社サービスセンターにご相談ください。

★ 電源が入らない

1. 電源コードが確実に電源コンセントに差し込まれていますか？
→ 電源コードを正しく接続してください。
2. スタンバイランプが点灯していませんか？
→ リモコンのPOWER ボタンを押してください。

★ スピーカーから音が出ない

1. 前面のセレクターで選択した入力ソースが間違っていますか？
→ 入力ソースを確認してください。
2. 再生機器などのご使用方法が間違っていますか？
→ 再生機器の取扱説明書をご覧ください。
3. 接続コードが確実に接続されていますか？
→ 接続コードを正しく接続してください。
4. 消音機能がオンになっていませんか？
→ 消音機能をオフにしてください。

★ dts 信号のある CD や LD からノイズが出る

1. アナログ入力で使用していませんか？
→ 再生機器がデジタル出力できることを確認して、デジタル入力で接続してください。
2. CD や LD が dts 信号の出力に対応していますか？
→ 再生機器の取扱説明書をご覧ください。

★ 96kHz PCM 信号が再生できない

1. 本機はサンプリング周波数 32kHz、44.1kHz、48kHz に対応しています。
→ DVD プレーヤーの設定を 48kHz になるようダウンサンプリング設定をしてください。

■ 保護回路について

本機にはアンプ回路およびスピーカーユニットを破損から保護する「保護回路」を搭載しています。保護回路が動作するとすぐに待機状態になり、待機インジケータが点滅します。

● 電源投入時

電源投入後からアンプ回路が安定するまでの約3～4秒間、保護回路が働き、ミュート状態になります。その後、アンプ回路が安定すると保護回路を解除し、音が出る状態になります。

● パワーアンプが加熱した時

下記のようにパワーアンプが加熱した時、保護回路が働き、すぐに待機状態になります。

- 過大な信号が入力された状態で連続使用し、メインアンプ部の温度が設定以上の温度になった時。
- 後面の通風孔を塞いで使用したり、狭いラックに入れて使用し、設定以上の温度になった時。

この時、温度が下がってから電源を入れ、ボリュームを少し絞ってください。

仕様・外観寸法図

【オーディオパワーアンプ部】

定格出力(20 Hz - 20 kHz / THD = 0.05%)
26W / ch 6 Ω
 実用最大出力(1kHz / JEITA)
30W / ch 6 Ω

周波数特性

アナログ入力 : LINE1 入力
20 Hz - 20 kHz (± 3dB)
 デジタル入力 : PCM 44.1 kHz
20 Hz - 20 kHz (± 3dB)
 S / N比 : PCM 44.1 kHz 100dB

【デコーダー部】

再生対応信号フォーマット
 PCMオーディオ (fs = 32kHz, 44.1kHz, 48kHz)
 DOLBY DIGITAL
 dts
 AAC
 パイノーラル

【電源部】

電源電圧 AC100V 50 / 60 Hz
 消費電力 40W (電気用品安全法)
 125W (6 Ω、30W × 2 出力時)
 待機時消費電力 0.8W

【入力部】

光デジタル 3系統
 HDMI (Ver. 1.1) 2系統
 アナログ 2系統 (ステレオ)

【出力部】

HDMI (Ver. 1.1) 1系統
 サブウーハー用プリアウト 1系統
 リモート出力 1系統

【スピーカー部】

高音部 1.9cm ドーム型 × 2
 中音部 8cm コーン型 × 2
 低音部 12cm コーン型 × 2

【最大外形寸法(本体)】

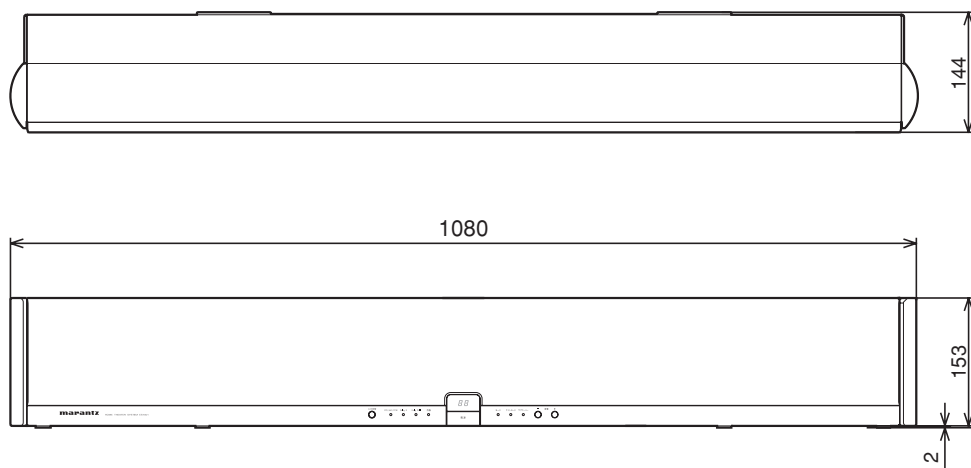
幅 1080mm
 高さ 153mm
 奥行 144mm
 質量(本体) 12kg

【付属品】

リモコン 1
 単4乾電池 2
 光デジタルケーブル 1
 保証書 1
 愛用者カード 1
 取扱説明書(本書) 1

【ご注意】

サランネットは取り外せません。



本機の規格および外観は改良のため、予告なく変更することがありますのでご了承ください。

その他

■ お手入れ

- セットが汚れた時は柔らかい布でからぶきしてください。汚れがひどい時は食器用洗剤を5～6倍にうすめ、やわらかい布に浸し、固く絞って汚れをふきとったあと、乾いた布でからぶきしてください。
- アルコール、シンナー、ベンジン、殺虫剤など揮発性のものが付着すると塗装がはげたり、光沢が失われることがありますから絶対にご使用にならないでください。また、化学ぞうきんでこすったり、長時間接触させたままにしておきますと変質したり、塗料がはげたりすることがありますのでご注意ください。

■ ステレオ音のエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。隣近所への配慮(思いやり)を十分にいたしましょう。

ステレオの音量はあなたの心がけ次第で大きくも小さくもなります。特に静かな夜間には小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽観賞には特に気を配りましょう。窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。



■ 保証・アフターサービスについて

1. この商品には保証書を別途添付してあります。保証書は「販売店印・保証期間」をご確認の上、販売店からお受け取りいただき、よくお読みの上、大切に保存してください。
2. 本体の保証期間はご購入日より1年間です。ご購入後販売店又は弊社営業所で保証記載事項に基づき「無料修理」致します。
3. 保証期間経過後の修理。修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理致します。
4. 当社はこの製品の補修用性能部品を製造打切後最低8年間保有しています。
5. 補修用部品の詳細・ご贈答・ご転居等アフターサービスについての不明な点は、ご購入後販売店または取扱説明書の裏面に記載の弊社営業所に遠慮なくご相談ください。

6. 修理を依頼される際には、お手数ですがもう一度“故障とお考えになる前に”をご参照の上よくお調べください。それでも直らない時は、必ず電源プラグを抜いてから、ご購入後販売店または当社営業所、サービスセンターにご連絡ください。

ご連絡いただきたい内容

- 1) 品名 ホームシアターシステム
- 2) 品番 ES7001
- 3) お買い上げ日 年 月 日
- 4) 故障の状況 (できるだけ具体的に)
- 5) ご住所
- 6) お名前
- 7) 電話番号

marantz®

お客様ご相談センター

☎ (03) 3719-3481

ご相談受付時間

9:30 - 12:00 13:00 - 17:00

(土 日 祝日 当社休日を除く)

修理に関しましては添付の「製品のご相談と修理・サービス窓口のご案内」をご覧ください。

株式会社 **マランツ** コンシューマー マーケティング

当社の最新情報をインターネット上でご覧下さい。

<http://www.marantz.jp>

この取扱説明書は、再生紙を使用しています。